



石海小学校だより

校訓「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.12 令和2年3月19日
発行者：校長 久保田 昌之

学びの成果を次の学年に

新型コロナウイルス対応による臨時休業のため、「6年生を送る会」「3年学習発表会」「ありがとうの会」等、いろいろな行事が中止になりました。3月23日に行われる卒業式は、練習時間を十分確保できず、参加人数を減らして時間を短縮するという制約がありますが、98名の児童が胸をはって石海小学校を巣立てるよう思い出に残る式典にしたいと思います。



ご家庭でも卒業や進級を前にして、1年間を振り返り、一人一人の頑張りを褒め、お子様の成長と一緒に喜んでいただけたらと思います。

今年度最後の学校だよりとなりました。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に温かいご支援・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

学習発表をがんばった授業参観

2月20日(木)に、授業参観と学級懇談会を行いました。今年度、最後の授業参観ということで自分の成長の様子や学習したことをまとめた発表形式の授業が多かったです。お忙しい中、子どもたちの発表や学習の様子をじっくりご覧いただきありがとうございます。また、学級懇談会での貴重なご意見をありがとうございました。



昔の米作り

3年生は、岩浦土地改良区をはじめ地域の皆様にご協力いただき、昔の米作りの様子について学習しました。クイズや劇を交え、昔の農機具やかかし等の実物を見ながら、楽しくわかりやすく学習できました。最後に、みんなで「おにぎりの歌」を歌いました。

本物の聖火に感動したよ

1964年の東京オリンピックの時は、聖火リレー走者が太子町を通過しました。24区(誉嶋橋～役場間)の正走者は、山本義雄さん(糸井)でした。現在、山本さんは、アメリカに住んでおられますが、子どもたちに見せるために、聖火を貸し出してくださいました。聖火を順に手にした6年生は、感動で瞳が輝いていました。



小小交流～斑鳩小の友だちができたよ



太子西中学校には、石海小と斑鳩小の児童が進学します。そこで、6年生は、中学校に入学する前に太子町役場の中庭広場で交流会を行いました。

最初は、お互いに少し緊張していましたが、いろいろな楽しい集団ゲームをする中で、うちとけて笑顔の輪が広がっていきました。入学する時の不安が少し解消したと思います。

遊具が新しくなりました

老朽化や現在の安全基準に適合していない遊具の撤去や修理が行われた後、いくつか新しい遊具が設置されました。ブランコの鎖には、指をはさみこまないための安全対策が施されています。



***** 教室の窓 *****
「予測困難な時代」そんな言葉を聞いてもなかなか実感がわか
なかつたのですが、思いもよらぬ事態が本当に今起きていま
す。6年生にとっては卒業に向けて1日1日を噛みしめるよう
に大切に過ごしたい時期、子どもたちはどんな気持ちで毎日
過ごしているのだろうと考えると、言葉でどう表現すればよい
か分かりません。今はただ、一人一人の卒業生・保護者の皆様
に対して、心のこもった卒業式を行い、6年生一人一人が晴れ
やかな気持ちでこの石海小学校を巣立っていくことを願うばか
りです。
(文責：教頭 中農 和広)